



新制服ワッペン
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

令和7年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第7号

【小野中HP】

わかばと



校訓：自主・積極

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成

令和7年9月16日

校長 西山 敏明

2学期始動！『共創』～その先へ～「人に優しく、喜ばれる人に」

2学期が始まり、生徒たちの元気な声が学校に響き渡っています。生徒たちの生き生きとした姿は、周りにも元気と活力を与えてくれます。

2学期始業式では、8/24長崎ピーススタジアムで開催された「V・ファールンOB vs 国見高校サッカー部OB レジェンドマッチ」に出場した、本校の先輩である元プロサッカー選手の松橋章太さんのさりげない行動を紹介しました。彼は、試合後、疲れているにもかかわらず、周りの人が少しでも楽になるようにと、ベンチのチームメイトのペットボトルを一人で1か所に集めていました。彼のように周りのことがよく見え、周りの人のために行動できる気持ちこそが、周りの向上と自分自身の活躍や成功の鍵になると思いました。

2学期は、宿泊学習や合唱祭、修学旅行など、たくさんの行事があります。これらの行事を、これまでに育んできた「共創」の力をより一層発揮し、「人にやさしく、喜ばれる人に」を目指して積極的に行動してほしいと願っています。皆さんが主役の2学期です。互いを思いやり、協力し合いながら、最高の思い出を創り上げましょう。



2学期総務のみなさんです。挑戦！ 新たな自分と最高の学級を築き上げよう！！

1-1	1-2	2-1	2-2	3-1
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1

2学期の抱負 1年

2学期に頑張りたいことは、行事と学習の2つです。行事では、宿泊学習や合唱祭を通して、仲間と協力しながら絆を深め、個人としても学年全体としても成長したいと考えています。学習面では、苦手な教科を克服するため、家庭学習の時間を確保し、授業への姿勢を見直したいです。自分が真剣に取り組むことで、ともに成長していくことが目標です。行事でも学習でも、まずは自分が頑張ることが、クラスや学年全体の成長につながると信じています。

2年生として意識したいこと 2年

2学期は、合唱祭と修学旅行という行事を通して、クラスや学年として成長したいと考えています。合唱祭ではチーム一丸となって歌い、修学旅行では仲間と協力し合い、楽しい思い出をつくりたいです。そのために、2年生として「みんなのために行動すること」と「ポジティブな発言を心がけること」の2つを意識し、実践します。一人ひとりがこれらのことを意識することで、学年全体のレベルアップを目指します。

2学期の抱負 3年

夏休みは、宿題を計画的に終わらせることで成長を実感しました。また、「挑戦すること」と「失敗を繰り返さないこと」を特に意識しました。駅伝練習やバドミントンの自主練に積極的に取り組み、失敗の原因を分析し、改善策を考える努力をしました。こうした経験から、挑戦することこそが成長の第一歩だと確信しています。2学期は、この夏休みに学んだことを活かし、新たな目標に挑戦する「挑戦の学期」にしたいです。

生徒会代表あいさつ

私が2学期に大事にしたい言葉は「不撓不屈（ふとうふくつ）」です。生徒会役員として、これまでは頼りがちだった部分を改め、リーダーとしての自覚をもって行動し、次の生徒会長を目指します。2学期は、1年生は宿泊学習や合唱祭、2年生は修学旅行、3年生は音楽祭や受験など、大切な行事が目白押しです。各自が目標をもち、精一杯取り組むことで、学年全体が成長できる学期にしましょう。

第1回「学校評価アンケート」結果を踏まえ改善していきます

評価項目	番号	評価内容	職員			生徒			保護者		
			R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
地域とのかかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.1	3.0	3.1	3.4	3.4	3.5	2.9	2.9	2.8
	2	地域行事への参加	3.3	3.1	3.1	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.8
	3	地域への関心	3.2	3.1	3.1	2.7	2.7	2.6	2.4	2.7	2.3
	4	学校だより等での情報発信	3.8	3.8	3.8	3.4	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3
	5	職員の地域活動等への参加	3.1	2.9	3.1				3.2	3.2	3.3
	6	職員の地域との関わり	3.4	3.2	3.5						
生き方の学習について	7	進路指導、進学指導への取組	3.5	3.4	3.5	3.3	3.4	3.3	3.2	3.1	3.1
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.4	3.5	3.7	3.2	3.3	3.4	3.0	3.2	3.1
	9	夢や希望を促す取組	3.3	3.4	3.3	3.1	3.0	3.3	2.9	2.9	3.0
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.4	3.6	3.5	3.4	3.5	3.5	2.8	3.0	3.0
学力の向上について	11	授業の「めあて」の提示	3.1	3.1	3.5	3.5	3.6	3.7			
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.1	3.1	3.4	3.3	3.4	3.3			
	13	授業の見通しの提示				3.5	3.4	3.5			
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.1	3.2	3.4	3.4	3.4	3.2			
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.3	3.1	3.2	3.6	3.6	3.7			
	16	自主学習ノートの取組				3.3	3.3	3.3			
	17	「きくこと」を意識した授業参加				3.4	3.4	3.4			
	18	身につけさせたい学力の明示	3.3	3.3	3.5				2.9	3.0	3.0
	19	学力向上のための取組の明示							3.0	3.0	3.0
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	2.9	3.1	2.9						
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.4	3.1	3.3						
	22	家庭学習の仕方の提示							2.9	2.8	2.9
	23	「小野中スマホルール」の遵守				3.2	3.1	3.2	2.6	2.7	2.7
一人一人を大切に する指導について	24	一人一人への観察				3.4	3.3	3.4			
	25	不安や悩みの理解	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.0	3.0	3.1
	26	性格や特性にあった指導	3.3	3.4	3.3	3.1	3.3	3.4	3.1	3.0	3.0
	27	ほめて認める指導	3.4	3.5	3.6	3.2	3.4	3.5	3.1	3.1	3.2
	28	教職員・家庭との情報の共有	3.6	3.5	3.9						
	29	家庭での会話							3.2	3.1	3.3
	30	いじめ防止基本方針の明示、理解	3.5	3.5	3.7				3.0	3.1	3.1
いじめ防止について	31	いじめの早期発見	3.6	3.6	3.7	3.2	3.4	3.5	2.9	3.1	3.1
	32	いじめを許さない雰囲気	3.1	3.4	3.1	3.0	3.2	3.2	2.9	3.0	3.0
	33	いじめ対応への理解	3.5	3.4	3.8						
	34	いじめへの発言や行動				3.3	3.3	3.3			
	35	いじめ防止のための環境、相談窓口				3.3	3.4	3.4	3.0	3.1	3.0
生徒会活動について	36	自主的な生徒会活動	3.2	3.1	3.6	3.5	3.4	3.5			
	37	積極的なボランティア活動	3.4	3.1	3.3	3.2	3.3	3.4	3.2	3.1	3.3
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.3	3.3	3.3				3.3	3.2	3.3
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.4	3.2	3.5	3.4	3.5	3.6			
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.3	3.3	3.3				3.1	3.1	3.1
	41	生徒会活動への積極的参加				3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.3

※目標値3.2(80%)以上
2.8(70%)以下

1. 地域とのかかわりについて

①地域への関心や行事への参加について生徒、保護者ともに低い評価が数年間続いている。➡(改善に向けて)○生徒や保護者に地域との関わりや意義を理解してもらうことが重要。今後の学校行事や総合的な学習の時間などを通じて、その意義の周知・啓発に努める。

2. 生き方の学習について

②教師、生徒共に全体的には高評価が多かったが、保護者の評価が目標値に達しない状況である。➡(改善に向けて)○学校での取組が十分に伝わっていない可能性や家庭で子どもと話し合う機会が少ないことが考えられる。情報発信や学年・学級育友会での情報共有を進める。

3. 学力の向上について

③生徒の多くの項目で目標値を上回る高評価が得られている。特に「授業の『めあて』をきちんと示している」は生徒全体の平均値が3.7と非常に高く、定着してきている様子が見えてくる。保護者の項目『2.2.家庭学習の仕方の提示』、『2.3.「小野中スマホルール」の遵守』については、課題が続く。

➡(改善に向けて)○育友会と連携し、生徒・保護者への啓発活動を強化する。家庭学習の習慣化を促すための啓発(学びに向かう小野っ子モデル)や家庭と連携した取組の強化が必要である。

4. 一人ひとりを大切にする指導について

④教職員・生徒は概ね高評価を得ている。特に「ほめて認める指導」は、教職員の自己評価が平均値3.6、生徒も平均値3.5と高い評価であった。生徒一人ひとりの個性に合わせた指導や、その努力を認める指導を心掛けて実践していることが、生徒に伝わってきていることを示唆していると考えられる。➡(改善に向けて)○生徒一人ひとりの特性や状況を的確に把握し、個々の成長を促すきめ細かな指導を継続していくことが重要である。全教職員で情報を共有し、いじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めるとともに、生徒同士がお互いを尊重し、温かい人間関係を築けるよう、道徳教育や生徒指導の更なる充実を図っていく。

5. いじめ防止について

⑤保護者のみ目標値3.2には達していないものの、職員、生徒は、おおむね良好な評価を得ており、特に『いじめの早期発見』については、過去3年間では毎年向上してきている。➡(改善に向けて)○いじめ防止基本方針や学校の取組について、保護者や地域への周知を徹底する必要がある。学校だよりや学級通信、ホームページなどを活用して、本校のいじめ防止への取組を積極的に発信する。○生徒会活動においても、生徒が主体となって具体的な「いじめをなくす」取組を計画・実行できるような支援体制を整え、生徒一人ひとりの「居場所」と「役割」がある学級・学校づくりを目指していく。

6. 生徒会活動について

⑥教職員、生徒、保護者ともに、前年度より数値が伸び、目標値を超えた結果が出ている。生徒会担当教師の指導の下に、生徒の活動、活躍する姿が目に見える形で表れてきたからだと推察できる。

➡(改善に向けて)○生徒会顧問の負担軽減を図る必要がある。生徒会が主催する行事や活動について、各分掌や学年で担当を明確にし、教職員全体で生徒の活動をサポートする体制を整える。これにより、特定の教師に負担が偏ることなく、生徒会活動の活発さを維持し、さらに発展させていく。

9月後半・10月の予定

9月16日(火)～17日(水)	10月1日(水) 市中総体駅伝競技大会	10月17日(金) 小野中学校合唱祭
1年宿泊学習 諫早青少年自然の家	2日(木) 3年性教育講座	学校運営協議会
21日(日) チャレンジ小野っ子	8日(水)～9日(木)	3年進路説明会
24日(水) 専門委員会	3年実力テスト	20日(月) 3年進路説明会
29日(月) 生徒会集会・表彰伝達・駅伝選手激励式	11日(土) イングリッシュスピーチコンテスト	22日(水) 諫早市中学校音楽祭
	12日(日) 子どもの安全を守る日	28日(火) ～11/7まで
	13日(月) スポーツの日	教育相談・三者面談
		31日(金) 生徒会集会・表彰伝達